

成績評価確認申請書

下の□内で指示されているすべての項目について、可能な限り詳細に記入し、必要な資料を添付した上で提出してください。十分な説明や裏付けがなされていない場合には、担当教員に照会するまでもなく却下とすることや、書き直して再提出を求められることがあります。なお、記述する各欄のスペースが足りない場合には、各欄を適宜拡大して記述のうえ提出するようにして下さい。

【記入する必要のある項目】

下記の申請者欄および以下の1. または2. 部分に必ず記入するようにしてください。

1. 試験科目・レポート科目についての問い合わせ …… ①～⑤・⑦
2. 平常点科目・平常点部分についての問い合わせ …… ①・②・⑥・⑦

申請に際しては、別紙の「成績評価確認申請に関する注意事項」および「成績評価確認制度の趣旨について」を読み、その内容を理解したことの確認のために、**下のチェック欄にチェックを入れる（□を☑とする）**ようにしてください。注意事項が守られていない申請に関しては、教員への問い合わせをお断りすることがあります。

別紙「成績評価確認申請に関する注意事項」および別紙「成績評価確認制度の趣旨について」を読み、その内容につき了解しました。

申請日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

ふりがな		
氏 名		
学科・専攻	学科	専攻
学年・組・番号	年	組
学籍番号		
電話番号 (携帯電話可)		
連絡先メール アドレス	※ kokugakuin.ac.jpからのメールを受信できるアドレスを記入してください。 ※ 正確に記入するよう注意してください。	
成績評価確認を 希望する科目		開講曜時
		曜日
担当教員名		限目

<p>①評価方法の詳細と成績表での評価</p>	<p>評価方法の発表時または授業時等に指示された評価方法をできるだけ正確記入して下さい。</p> <p>例：試験80%、小テスト20%、欠席に関しては3回を超えたものを1回につき5点減点</p>	<p>成績表での評価(A+/S~R)</p>
<p>②評価方法に対するあなた自身の評価</p>	<p>評価方法ごとにあなたがあげた成果を具体的に説明し、全体としてどのような評価が与えられるべきであると考えているかを説明して下さい。</p> <p>例：試験については下記⑤で説明するように50%の点数はとれている。小テストは、10回すべて受け、いずれも80点以上であった。また、遅刻1回以外はすべて出席しており、上の評価方法に照らすと、60点以上の評価になるもの考える。</p>	

<p>③試験問題またはレポートの課題</p>	<p>確認したい問題だけでなく、すべての問題について、思い出せる範囲で、できるだけ正確に記入してください。ただし、選択しなかった問題については、省略してかまいません。</p> <p>例：以下の問に答えなさい。</p> <p>問1. 「無効」と「取消し」の違いについて説明しなさい。</p> <p>問2. 民法94条2項に関する解釈上の論点について説明しなさい。</p>
<p>④あなたの答案またはレポートの骨子・概要</p>	<p>下の⑤で確認したいことが了解できるよう、疑問を持った部分に関して、詳細に記入してください。</p> <p>例:私は、問1に関して、A、B、Cが論点だと考え、その順に記述した。Aに関しては、判例での解釈を示した上で、xの点に関して、判例に対する有力な反対説があること説明し、……。また、問2に関しては、論点Pしか思い出せなかったが、その点に関しては、問1と同じように……。</p>

<p>⑤答案またはレポートについて確認したい点</p>	<p>上記の答案のどの部分に対して、どのような評価が与えられるべきで、その結果、全体として何%位の評価が与えられるべきと考えるのか。また、その根拠は何かについて、詳細に記述してください。</p> <p>例:問1に関しては、上の④に記したように、講義で説明された論点をもれなく取り上げ、各論点について、教科書に記述があるものを含めて、判例・学説の内容を簡潔に説明した。表現の問題はあるかもしれないが、全体としては80%程度の点数が与えられていると考える。問2に関しては、論点は1つだけだが、……。全体では、50%～60%の得点があるはずであり、小テストの点数と合わせても「D」評価になることはないと思う。</p>
-----------------------------	---

<p>⑥平常点に関して確認したい点</p>	<p>評価方法に平常点が含まれており、その部分について疑問のある場合には、その内容を具体的に記述して下さい。</p> <p>例：すべての授業に出席した。遅刻も1回のみで、電車遅延が原因であることから、遅延証明書を提出した。課題も忘れずに提出し、授業時にも積極的に発言をした。グループ・ディスカッションでも中心的な役割を果たし、そのことは先生もよく知っているはずである。したがって、少なくとも合格点には到達していると思う。</p>
-----------------------	--

<p>⑦上記⑤・⑥の主張の根拠となる資料</p>	<p>教科書の該当ページ、授業時のレジюме、講義ノート、小テストの答案、レポートのコピー、K-SMAPY IIの出席記録など、上記⑤および⑥の主張を裏付ける資料があれば、ここにその名称を記入して、当該資料を添付してください（当該資料はPDFファイル等のほか目視可能な画像も可とします）。なお、教科書のページ数が多数にわたる場合などは、ここに教科書の書名とページ数を記載するだけでかまいません。</p> <p>例:教科書188～189ページ（答案に記述した部分、PDFファイル添付）、●月○日授業時配布レジюме（答案に記述した部分、PDFファイル添付）、K-SMAPY IIの出席状況データ（画像添付）</p>
--------------------------	--